

# 狭山市公共施設等総合管理計画

～新しい公共施設経営～

狭山市総合政策部行政経営課

公共施設マネジメント担当

平成 29 年 11 月

# 公共施設等

## 公共施設

学校

図書館

公民館など



## インフラ施設

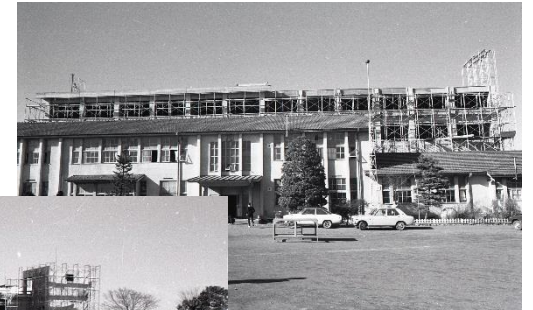
道路

橋

水道など



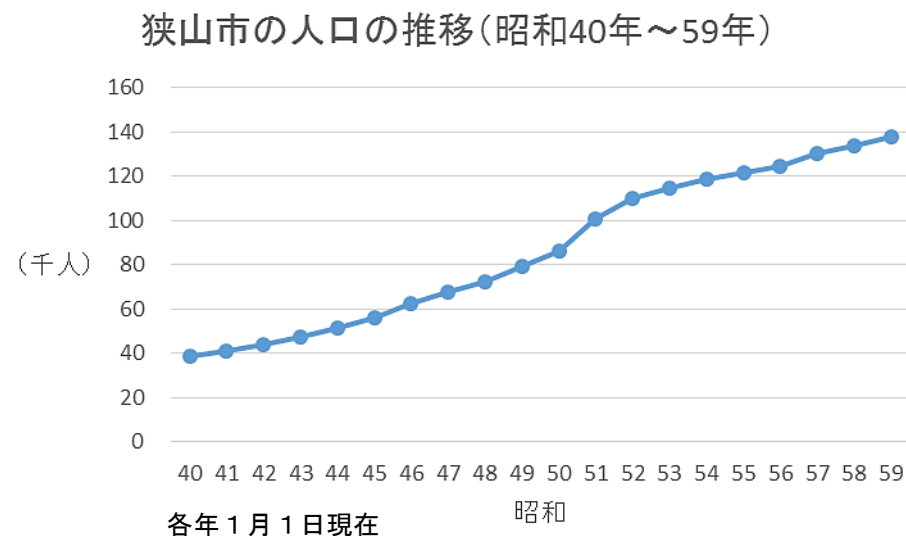
高度経済成長期に整備された建物や道路が更新時期を迎えているので、多くの費用が必要（更新とは改修や建替えのこと）



イメージ



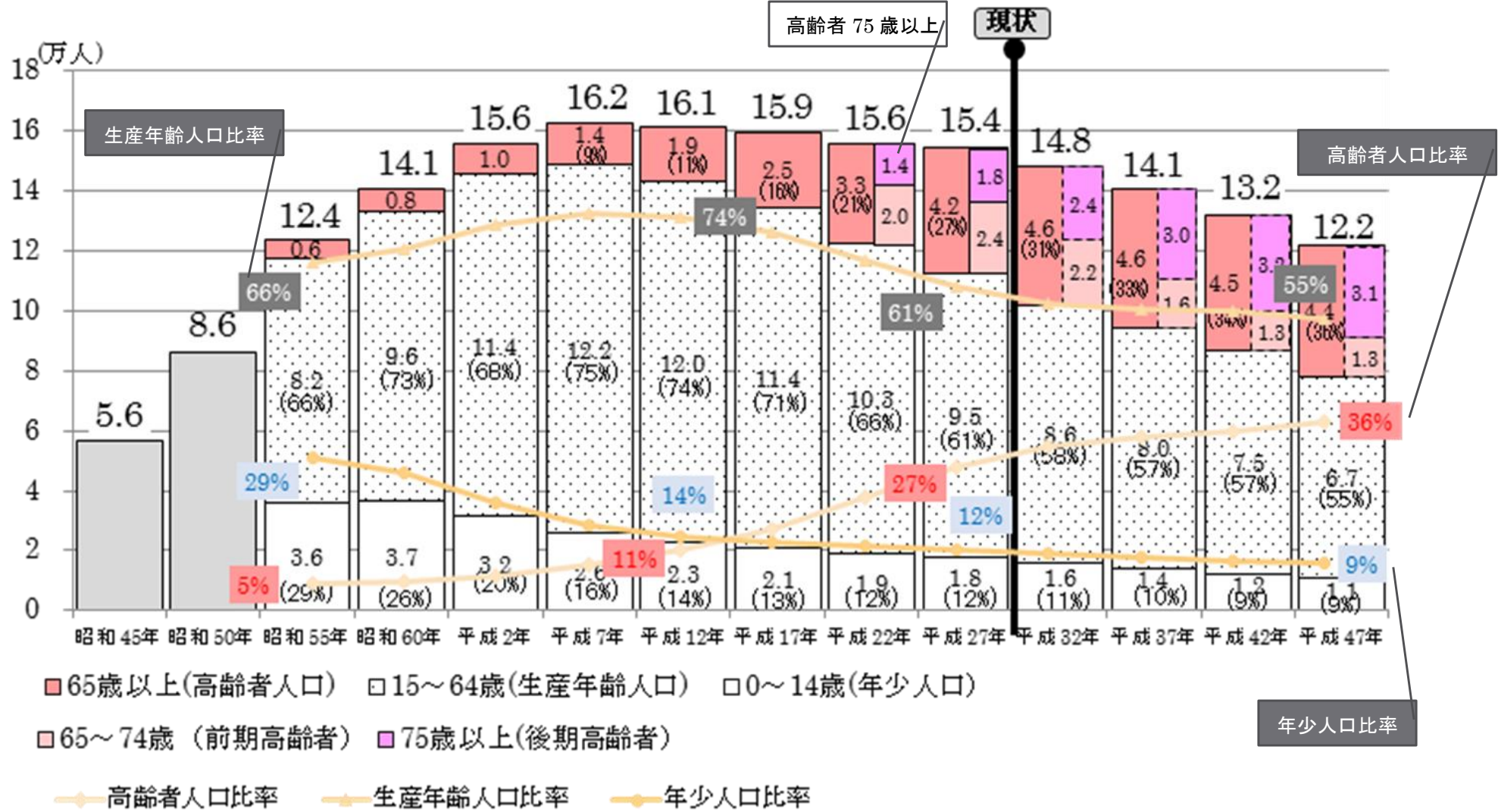
# 公共施設は人口増加やまちの拡大に比例



- 昭和 43 年 人口が 5 万人を突破
- 昭和 49 年 狭山台団地造成 昭和 50 年入居開始
- 昭和 50 年 人口が 10 万人突破
- 昭和 54 年 入間川駅が狭山市駅へ名称変更
- 昭和 56 年 つつじ野団地入居開始



# 人口減少と少子高齢化 ～ 狭山市の場合 ～

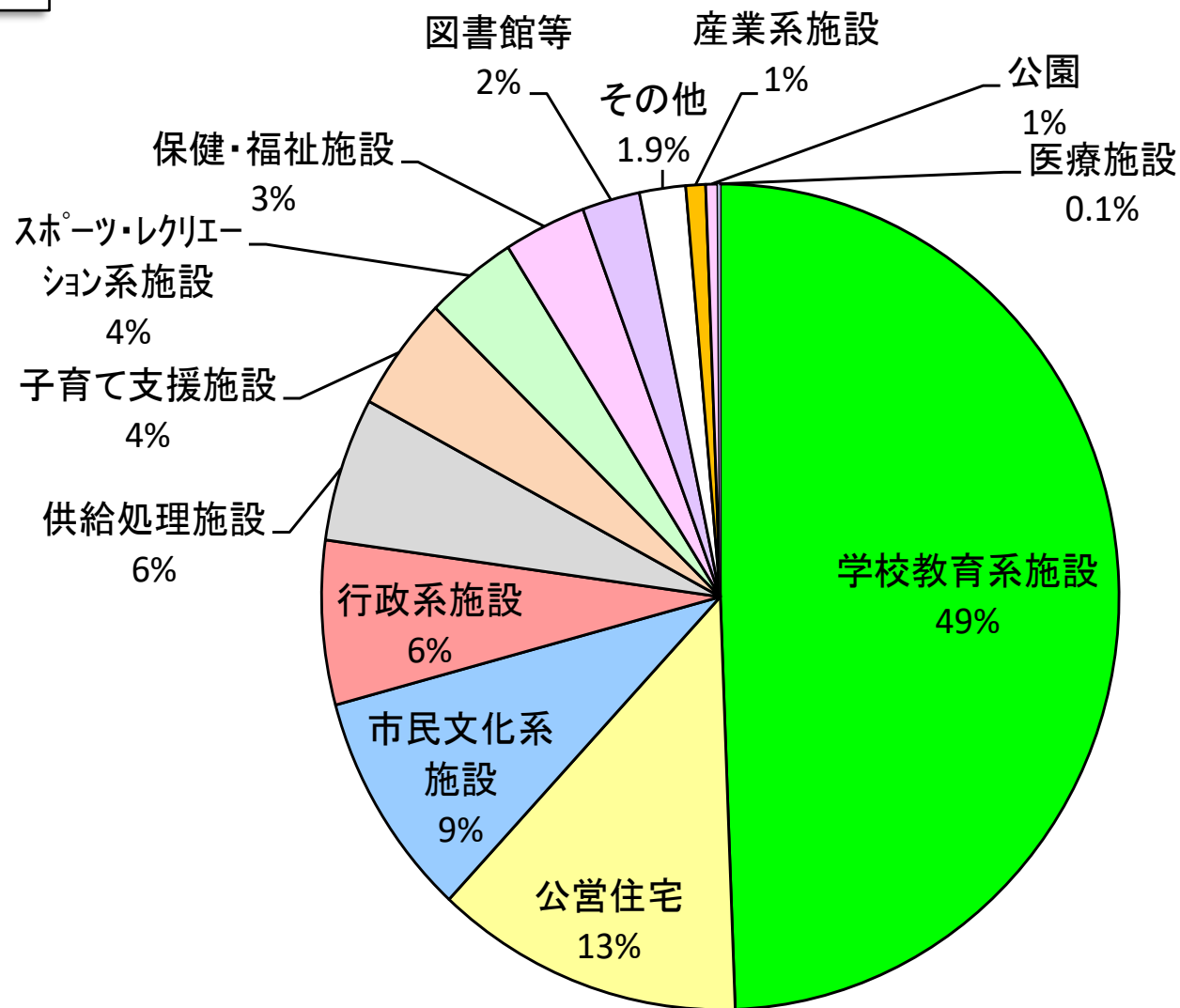
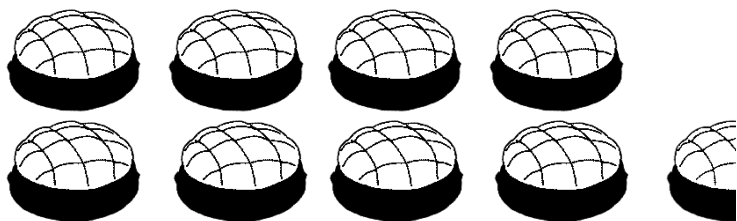


狭山市の公共施設の規模は？

延床面積

39.9 万㎡

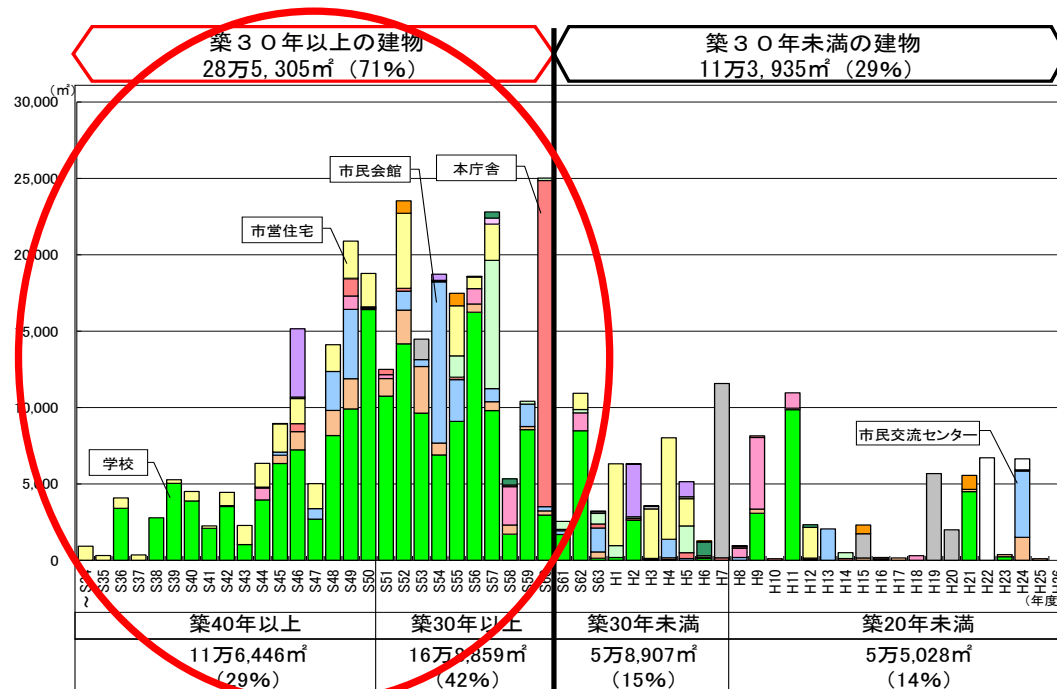
東京ドーム 8.5 個分の面積



# 狭山市公共施設白書

平成 28 年 2 月

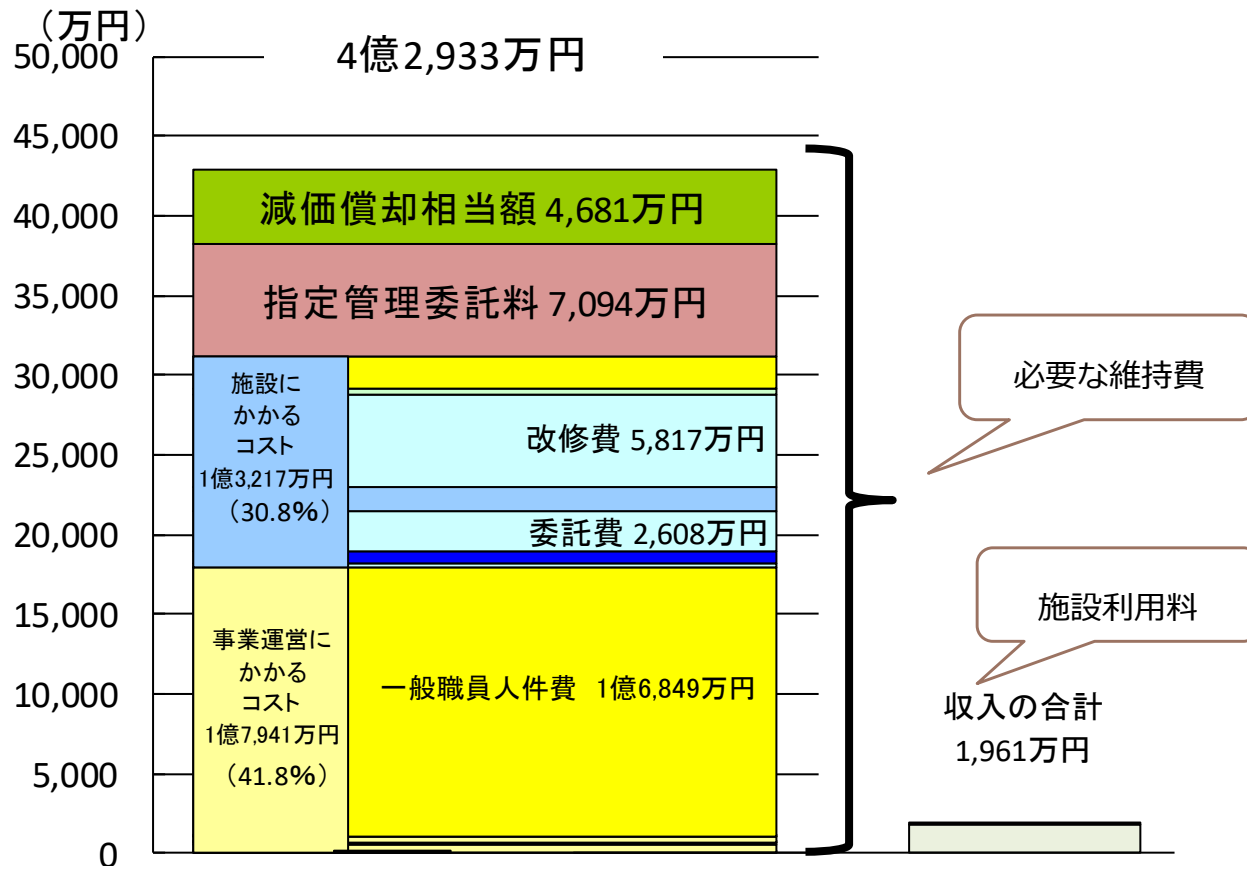
築 30 年以上経過した施設が 71% !



# 狭山市公共施設白書

平成 28 年 2 月

## ● 公民館全館（11 館）の運営事業費（平成 26 年度）



## ● 公民館全館（11 館）の稼働率（平成 26 年度）

施設名	稼働率
中央公民館	53%
富士見公民館	51%
入曽公民館	42%
水野公民館	38%
堀兼公民館	32%
狭山台公民館	58%
新狭山公民館	20%
奥富公民館	27%
柏原公民館	34%
広瀬公民館	50%
水富公民館	27%



# 公共施設が抱える3つの課題

## 課題1

- ・老朽化する公共施設が増加し、多額の更新費用が必要

## 課題2

- ・人口減少のため市民1人あたりの維持費負担が増加

## 課題3

- ・高齢者が増え、若者が減るなどの社会の変化により、施設の役割も変わる



# 公共施設の更新問題

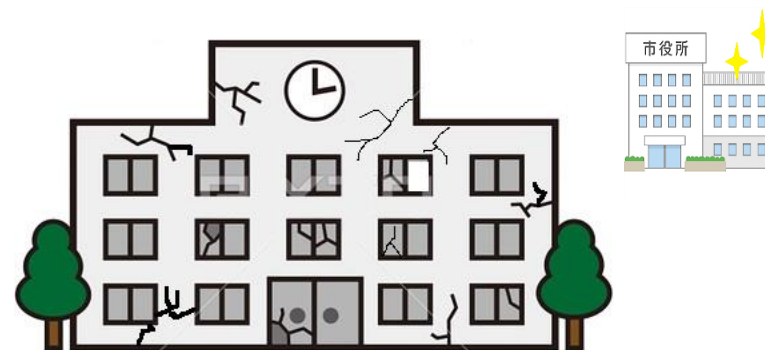
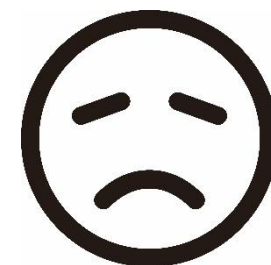
「更新」 改修や建替えのこと

このままだと . . . .

## シナリオ1

建物は簡単には壊れないと、対策を先送りする

- ・ 施設は、どんどん老朽化
- ・ 設備も老朽化して危険度が高くなる
- ・ 場当たりの対応で、リニューアルした施設と老朽化したままの施設が混在する



このままだと . . . .

## シナリオ 2

### すべての施設を建替える

- ・ 無理な借金をして次世代へ負担を先送り
- ・ 財政が悪化し、公共サービスが低下



この問題に対して・・・

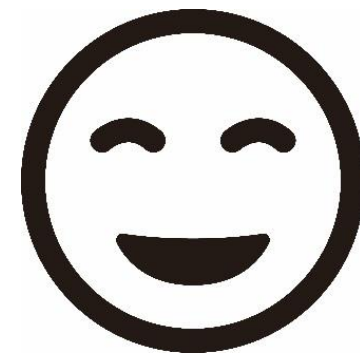
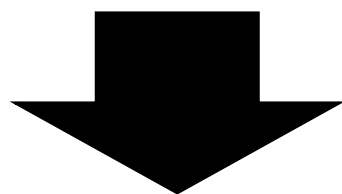
# 第3のシナリオを自指す狭山市



## 狭山市の目指すシナリオ

### シナリオ 3

公共施設のあり方を見直し、必要な公共施設サービスを持続的に提供する



**新しい公共施設経営**

# 新しい公共施設経営をどうやって目指すのか

人口減少

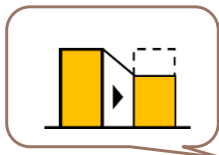
税収減少

施設の更新（改修・建替え）に

今後 40 年間で

1,861 億円

キーワードは公共施設の



**スリム化**

と

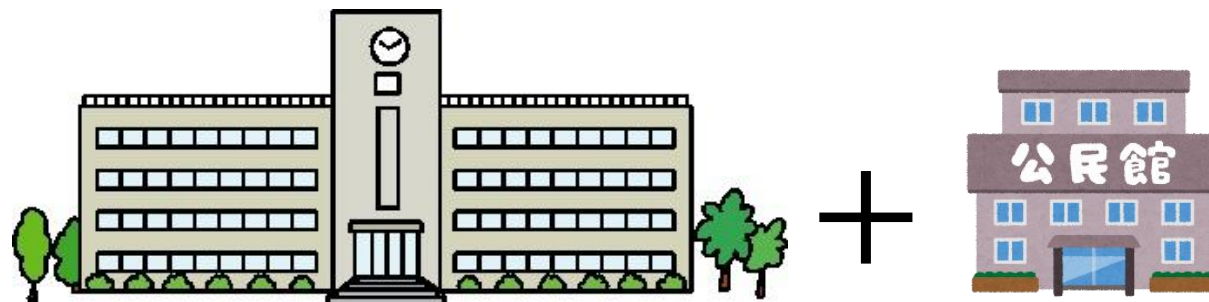
**公民連携**



これからの公共施設の新しいかたち

# 公共施設の複合化

例えば、学校と公民館の複合化・・・



- ・ 公共施設サービスの継続
- ・ 効率化で維持費が下がる
- ・ 施設の魅力が上がる

これからの公共施設の新しいかたち

## 民間との連携

使用頻度の少ない施設や空間を民間に貸し出ししたり売却したりする

民間の方が効率的に提供できるサービスは民間に任せる

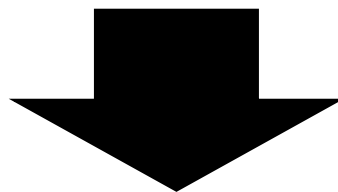
民間の施設の一部を市が借りてサービスを提供する



- ・ **公共施設の有効活用**
- ・ **効率化で維持費が下がる**
- ・ **サービスの向上**



新しい公共施設経営を実現するために



狭山市公共施設等総合管理計画を策定（平成 29 年 3 月）

## 視点1 公共施設サービスの持続的な提供

公共施設のあり方を見直して、無駄なく必要な  
公共施設サービスを次世代へと継続



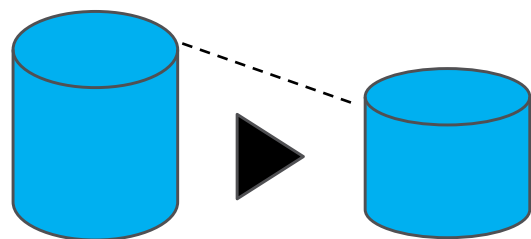
## 視点2 安全な公共施設の提供

公共施設の計画的な保全を実施して、安全な  
施設を提供



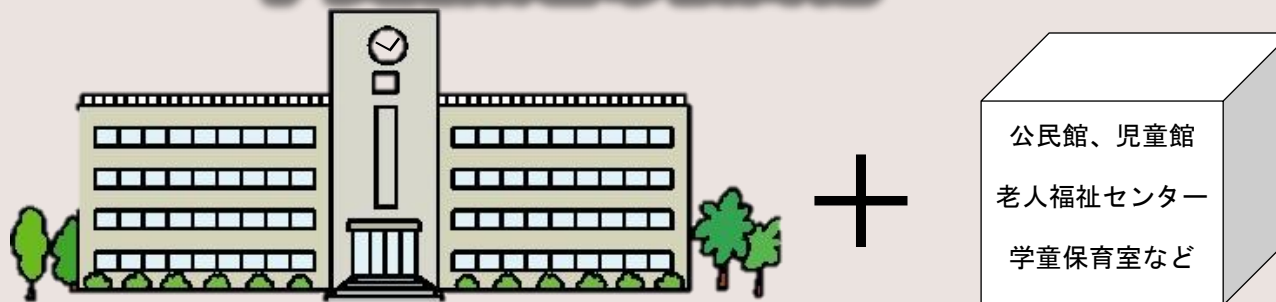
### 視点3 次世代への負担を軽減

次世代へ大きな負担を残さずに将来も保有  
できる公共施設の総量として、40年かけて  
30%の床面積を削減

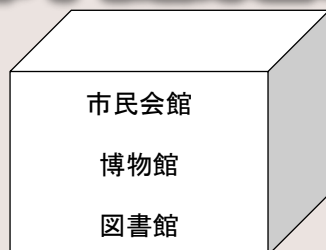


# 新しい公共施設経営を目指して 狭山市公共施設等総合管理計画

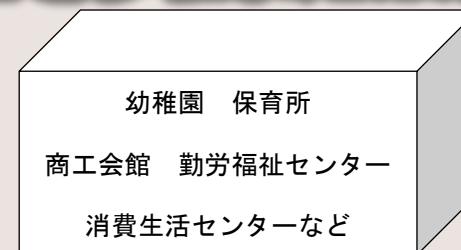
## 学校施設との複合化



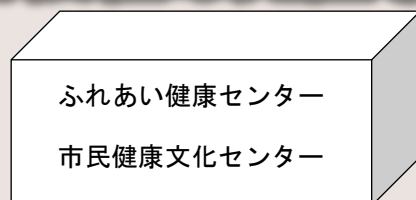
## 近隣市や民間との連携



## 機能に移転または集約化



## 公共サービスとしての 必要性の見直し



## 規模を縮小しながら建替え

